

## 避難訓練をしました

11日、理科室から出火という想定で、避難訓練を行いました。今回は、正門前への避難に加えて消火器の使い方と煙の中を移動する体験も行いました。

活動後の振り返りを見ると、86%の児童は、自分の避難の仕方が適切だったと感じているようです。避難時、「おはしも」を守り、先生や消防士の話を聞いて冷静に行動できたという意見が多く見られました。また、煙の中では、姿勢を低くするなど適切な対応を学んだようです。

子供たちの感想を紹介します。

- 本当に火事になったら、考えて自分の命を守る。
- 火は上に行くことを知った。煙はもっと危ないことを知った。
- 「おはしも」と、家で家事が起きても消火器は使えないけれど、言われた事を守りたいです。
- 煙は上にいくから、姿勢を低くするとよいことが分かりました。
- 消火器の使い方が分かった。
- あんなに煙がたくさんあったら見えないし、火が出ていたら火元を消したらいいと分かりました。
- しゃがんで行ったらいいということを知りました。
- 煙の中では、体を小さくして逃げること。
- 消火器の使い方が分かった。
- 災害時に守ることや、どう逃げるかを学んだ。
- 火事の時、何かトラブルがあるかもしれないので、あわてて逃げないことが大切と分かった。自分で考えたり、先生の指示を聞いたりすることが大事だということが分かりました。
- 煙は、どんどん上ってくることが分かった。できるだけ姿勢を低くして逃げる。
- 「おかしもち」を守って行動する
- 煙がいっぱいで本当に前が見えないので、姿勢を低くするとよいことが分かりました。
- 火事が起きて煙が出たときは、姿勢を低くしたらいいことが分かりました。
- 煙は怖いということと、絶対に人の話を聞いて行動するということ。
- 慌てたら大変だから、慌てないことです。消火器で、火の出ている火元をねらうことを知りました。



自分（じぶん）の避難（ひなん）をふりかえってみましょう。  
22件の回答

